

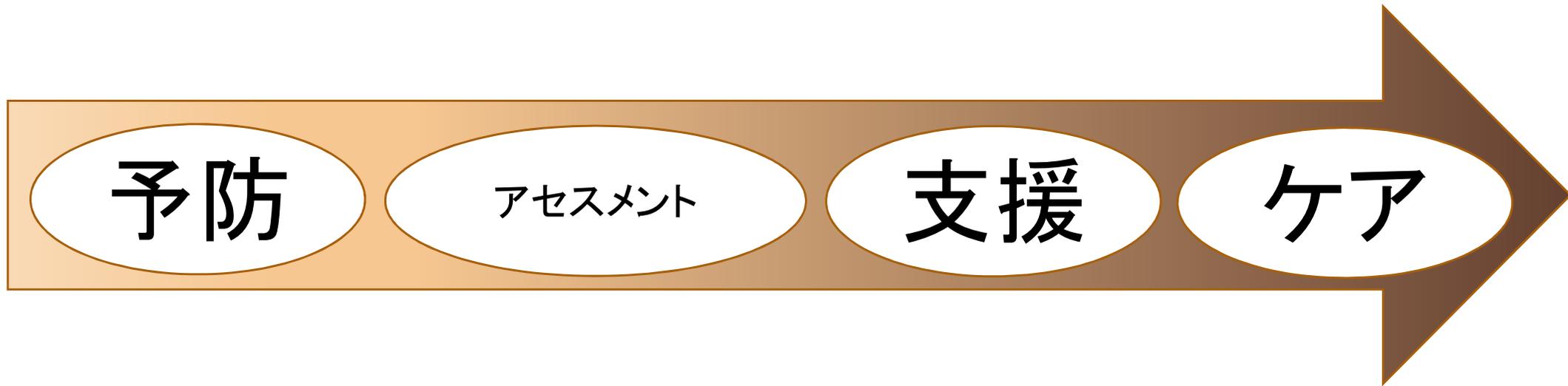
さいたま市における SOSの出し方に関する教育

平成31年1月24日(木)

さいたま市立善前小学校 校長 小田切 倫子



さいたま市の教育相談体制



予防

- 人間関係プログラム（小3～中1）
- 「いのちの支え合い」を学ぶ授業（小5～中3）
- sosの出し方に関する教育（モデル校）
- さいたま市子ども会議
- いじめ撲滅強化月間
- 保護者啓発資料

等

アセスメント

- 「心と生活のアンケート」(小3～中3)
- 長期休業前アンケート
- 教育相談日週間(日)
- 学校非公式サイト等監視

等

支援

- SC・SSW・さわやか相談員の配置・派遣
- さわやか相談室の設置(市立全中学校)
- 学校カウンセリング基礎研修(悉皆)
- ゲートキーパー研修(悉皆)
- 市立教育相談室・適応指導教室(市内6か所)
- 24時間子どもSOS窓口

等

ケア

○SCSVの派遣

- 専門医による教育相談
- 子どもサポートネットワーク
- 「さいたま市児童生徒緊急対応チーム」
- 「特別支援教育ネットワーク連携協議会」

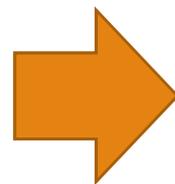
等

「SOSの出し方に関する教育」



「sosの出し方に関する教育」

- スキルの育成
- 教職員の資質向上
- 相談体制の充実



児童生徒の
相談の成功体験
を積む

スキル育成の中心となる取組

「いのちの支え合い」を学ぶ授業

特別活動として実施

「いのちの支え合い」を学ぶ授業の**内容構成**

ストレスや悩みは、誰にでもある

⇒相談することは恥ずかしいことではない

⇒友達から相談されたら親身になって相談に乗る

⇒深い悩みについては、信頼できる大人につなぐ

⇒学校以外にも相談機関がある

「いのちの支え合い」を学ぶ授業の題材名

小学校	5年生	「悩みと上手につき合おう」
	6年生	「友達のよい相談相手になろう」
中学校	1年生	「ストレスを上手に発散しよう」
	2年生	「心だって風邪をひく」
	3年生	「自分の将来に自信をもって」

【小学校】

「いのちの支え合い」を学ぶ授業の学習内容

5年生	自分が悩んだときの相談の仕方
6年生	友達からの相談の乗り方

【中学校】

「いのちの支え合い」を学ぶ授業の学習内容

1年生	ストレスの発散の仕方
2年生	自分や友達の深い悩みの対処の仕方 ～「生きていても仕方がない」 という気持ちにどう対処するか～
3年生	進路の不安への向き合い方

「いのちの支え合い」を学ぶ授業の活動例

- グループによる話し合い
- ロールプレイング
- 実践

等

全学年共通の指導事項

★学校以外の相談機関資料配付

★友達の深い悩みやいじめに気付いた時には、信頼できる大人に相談すること

「いのちの支え合い」を学ぶ授業の指導体制例

小学校	5年生	担任	+	養護教諭
	6年生	担任	+	さわやか相談員
中学校	1年生	担任	+	さわやか相談員
	2年生	担任	+	スクールカウンセラー
	3年生	担任		

「いのちの支え合い」を学ぶ授業を

はじめるにあたっての**留意点**

全校

同じ質

負担感少なく

工夫1 教育課程への位置づけ

特別活動(学級活動)

35時間 の中で実施

35時間 + 1時間 として実施

工夫2 全校統一指導案の作成

- 授業の具体的な流れ
- ゲストティーチャーの役割や指導内容の詳細

工夫3 校務用パソコンによる配信

- 指導案
- 板書（掲示用）
- ワークシート
- 授業映像

工夫4 モデル校・研究指定校

○モデル校(小1校・中1校)【平成22年度】

○研究指定校(小3校・中3校)【平成23年度】

※授業公開を行い、各学校より悉皆研修として参観



さいたま市立小・中学校で**全校実施**【平成24年度】

さいたま市における

「sosの出し方に関する教育」の推進

- 「さいたま市の学校教育
推進の指針・指導の努力点」への明記
- 「いのちの支え合い」を学ぶ授業の拡大

推進の指針

「sosの出し方に関する教育～自殺予防教育～」では、社会において直面する可能性のある様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けるための教育や、心の健康の保持に係る教育を推進する。自殺予防教育の視点から、命の大切さを実感するなどの教育に偏らないようにするとともに、指導に当たっては、児童生徒の小さな変化を見逃すことがないよう見守り、心配な状況がある場合には、適切な支援が得られるよう配慮する。

「いのちの支え合い」を学ぶ授業の**拡大**

小学校	1年生	困ったときは、言ってみよう
	2年生	困っている友達のかになろう
	3年生	いやな気持ちを伝えよう
	4年生	友達の助けになろう

「SOSの出し方に関する教育」を 推進するにあたって…

- スキルの育成
- 相談体制の充実
- 教職員の資質向上

総合的な
展開

児童生徒の
相談の成功体験
を積む

年間を通して
意図的・計画的に



ご清聴、
ありがとうございました。

「心のサポート推進事業」全体構想図

一人ひとりの児童生徒が輝くために
いじめの問題や不登校等の解消を目指します！

ケア

支援

新は新規事業

予防

アセスメント

教育相談体制の充実

専門的なケア体制の充実

予防開発的な 教育活動の充実

- 新〇SOSの出し方に関する教育
～自殺予防教育～
- ・SOSの出し方に関する教育の推進
- ・SOSを出することができる態度やスキルの育成
- ・『いのちの支え合い』を学ぶ授業の確実な実施
- 〇「人間関係プログラム」の充実
- 〇いじめ撲滅強化月間の実施
- 〇さいたま市子ども会議の開催
- 〇いじめ防止シンポジウムの開催
- 〇「赤ちゃん・幼児触れ合い体験」の市立全中学校での実施

アセスメントの充実

- 〇「人間関係プログラム」に係る調査結果活用の手引き
- 〇「心と生活のアンケート」の実施と結果の活用
- 〇教育相談週間（日）の実施
- 〇いじめ・長期欠席児童生徒の状況把握
- 〇学校非公式サイト等監視業務の実施
- 〇不登校実態調査の実施

- 〇児童生徒の心のサポート手引き「緊急対応」「いじめに係る対応」「欠席児童生徒への対応」に基づく対応の徹底
- 〇生徒指導教育相談研修（悉皆）の実施

- 〇保護者啓発資料の活用
- 〇さいたま市青少年健全育成地域の集いの実施
- 〇「親子支援プログラム」の実施
- 〇学校保健委員会を中心とした啓発活動の実施

家庭・地域との連携

- 新〇さいたま市子ども家庭総合センター内での本格的な業務の開始
- 新〇スクールソーシャルワーカーの小学校配置
- 新〇フリースクール等連絡協議会の設置
- 〇市立教育相談室・適応指導教室の充実
- 〇スクールカウンセラーの配置
- 〇個別サポート指導員による相談及び個別学習指導の実施
- 〇学校生活指導員による学校支援
- 〇ゲートキーパー研修の実施
- 〇さわやか相談室の充実
- 〇特別支援・教育相談センターの充実
- 〇24時間子どもSOS窓口の実施
- 〇院内学習室（市立病院内）の充実

- 〇「子どもサポートネットワーク」の活用
- 〇スクールカウンセラースーパーバイザーの配置
- 〇特別支援ネットワーク連携協議会の活用
- 〇「さいたま市児童生徒緊急対応チーム」の派遣
- 〇専門医による教育相談の実施
- 〇学校精神科医・学校産婦人科医による学校支援